

CM61-3001
第1版
2004.06

浮かし工法MDF（極小）

取扱説明書

1. 浮かし工法MDF（極小）
2. PAT. CONマルチケーブル
分離、嵌合工具

東京通信機工業株式会社

本取扱説明書は、浮かし工法MDF（極小）の説明書であり、下記の構成になっております。

1. 浮かし工法MDF（極小）
（No.1～ No.5）
2. PAT. CONマルチケーブル
及びPAT. CON分離工具、嵌合工具（専用工具）
（No.1～ No.7）

ご使用する前に必ず本取扱説明書により、注意事項、扱い方等をご確認の様お願い致します。

尚、ご不明な点、問い合わせ等がございましたら、下記にお願い致します。

東京通信機工業株式会社

本社営業部 TEL：03（3447）2421
FAX：03（3447）0426

大阪営業所 TEL：06（4805）6580
FAX：06（4805）6585

「浮かし工法MDF（極小）」構造及び取扱説明書

構造及び機能

浮かし工法MDF（極小）は、下記の構成になっております。

（構造図参照）

1. バーチカルバー（2組）

ベースプレートとトッププレート間に取付け、50号保安器等をワンタッチで仮搭載するもので、50-ARR等が最大9個/1バーチカルバーに搭載できます。

また、各バーチカルバーは作業スペース拡大のため、左右に各々最大45度の回転が可能です。

尚、バーチカルバーの外れ事故等を防止するため、バーチカルバー抜け止め金具を設けてあります。

2. ベースプレート（1組）

自動MDFフレームBの下部前面に位置するもので、トッププレート、バーチカルバーでMDFを構成します。

また、バーチカルバーの回転軸を有しており、組立てが容易にできます。

3. トッププレート（1組）

自動MDFフレームBの上部前面に位置するもので、ベースプレート、バーチカルバーでMDFを構成するものです。

また、バーチカルバーの回転軸を有しており、組立が容易にできます。

4. ベース固定バー（2組）

自動MDFフレームBと浮かし工法MDFを下部にて固定するもので、ベースプレートに取付けます。

尚、取付け位置は作業に支障のない所を選べる様、数ヶ所設けてあります。

5. トップ固定バー（2組）

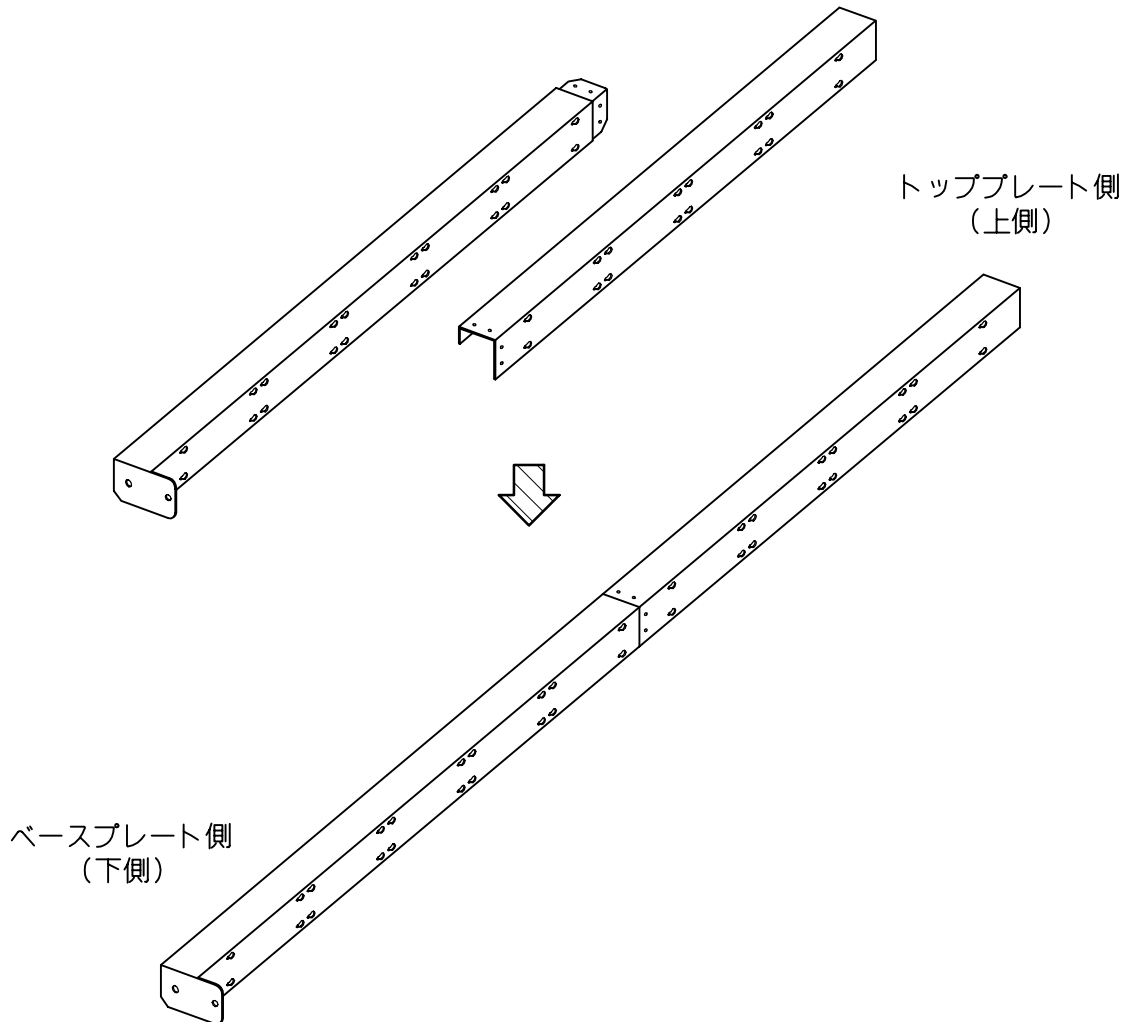
自動MDFフレームBと浮かし工法MDFを上部にて固定するもので、トッププレートに取付けます。

尚、取付け位置はベース固定バー同様、数ヶ所設けてあります。

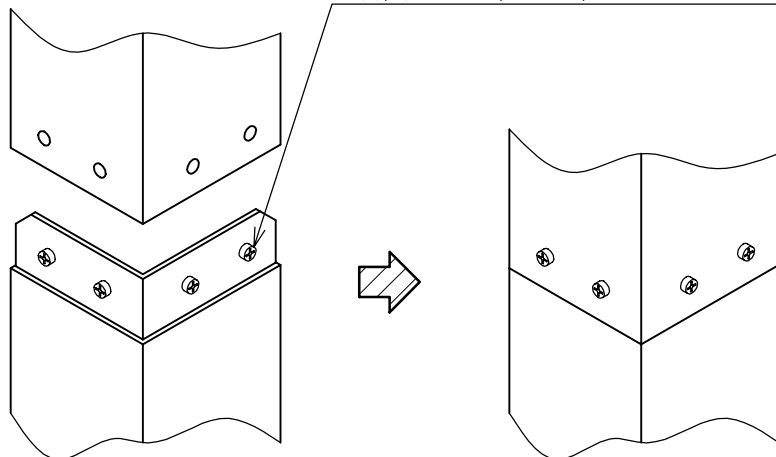
組立手順

1. 2分割になっているバーチカルバーを下図の様に組み立てます。

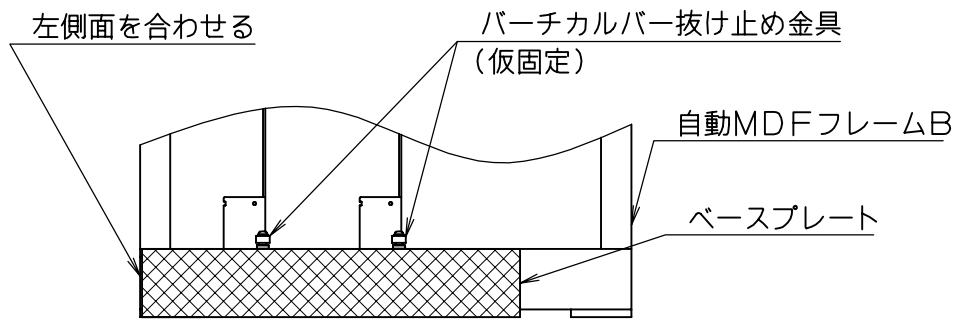
<バーチカルバー>



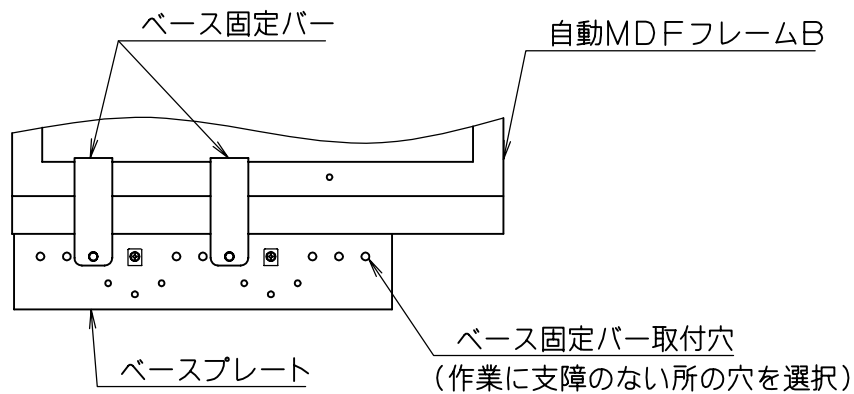
仮止めしてあるM5ねじ（4本）を外し、
右図の様に組立を行う



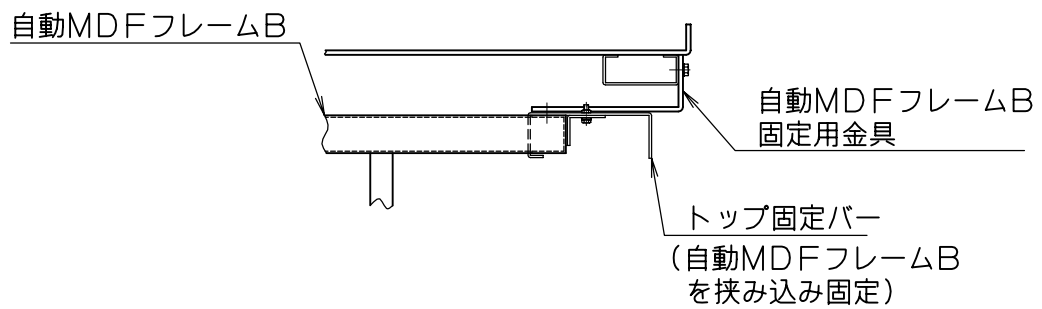
2. ベースプレートを自動MDFフレームBの下部前面に設置します。



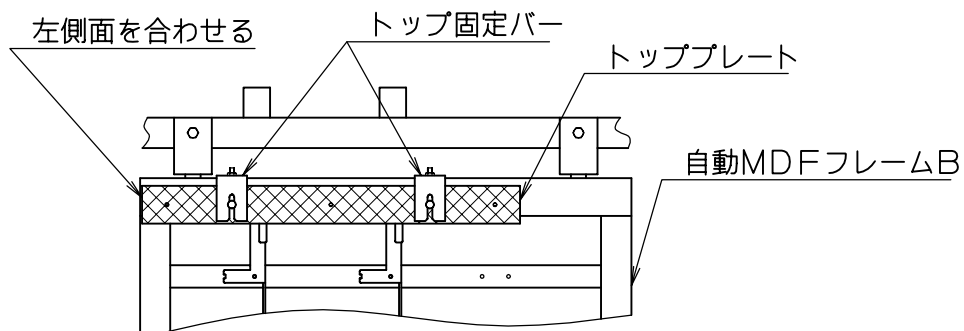
3. ベース固定バーで自動MDFフレームBとベースプレートを固定します。



4. トップ固定バーを自動MDFフレームBの上部に仮固定します。



5. トッププレートをトップ固定バーに固定し、トップ固定バーを自動MDFフレームBに確実に固定して下さい。

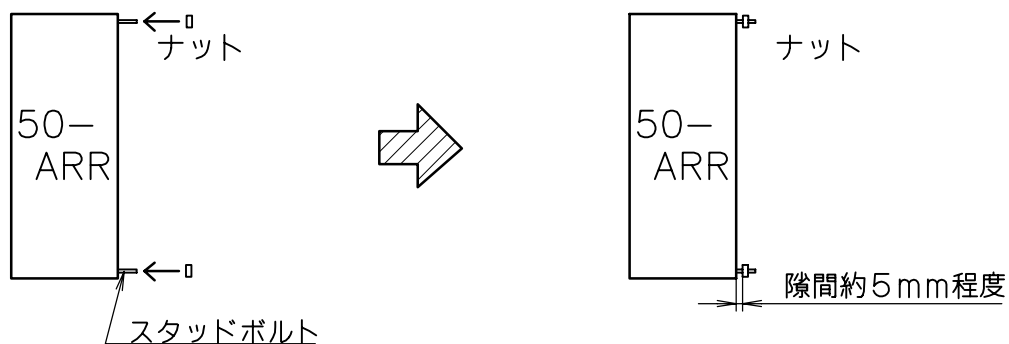


6. バーチカルバーをベースプレート及びトッププレートの回転軸に挿入し、位置決め用ピンにて固定します。

また、ベースプレート側の回転軸にバーチカルバー抜け止め金具を取付けて下さい。

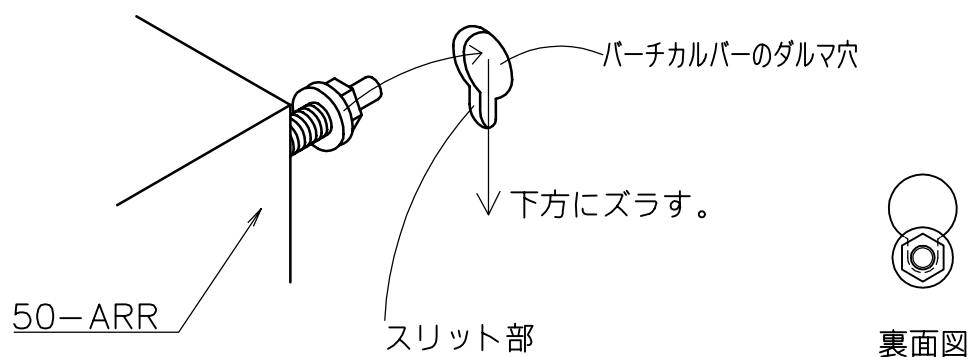
7. 50号保安器等のバーチカルバーへの仮搭載方法

(1) 50-ARRのスタッドボルトにナット挿入し、約5mm程度の隙間を必ず設ける。



(2) バーチカルバーのダルマ穴に挿入し、下方にずらす。

この際必ずスタッドボルトがダルマ穴のスリット部に入る事を確認する。



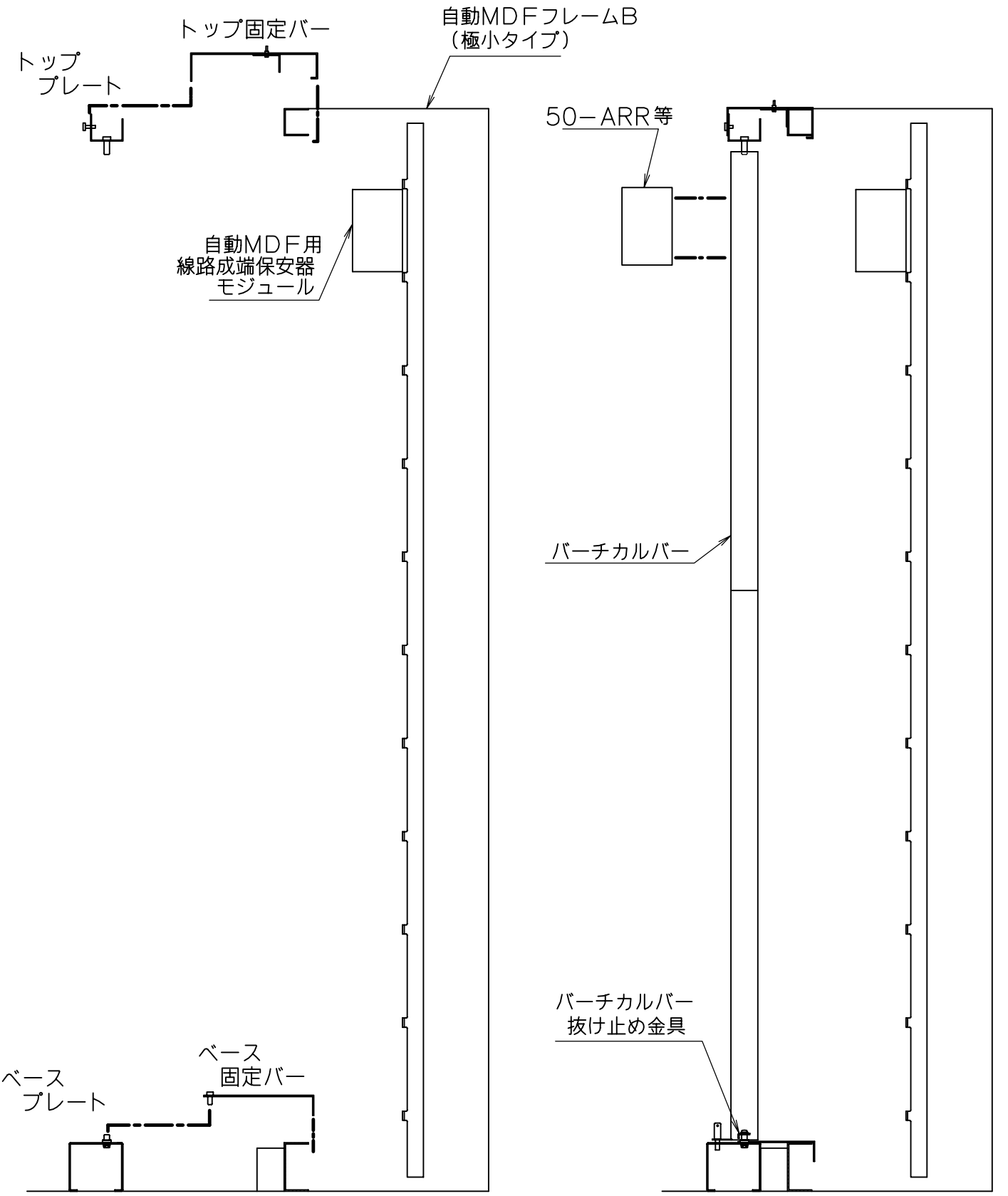
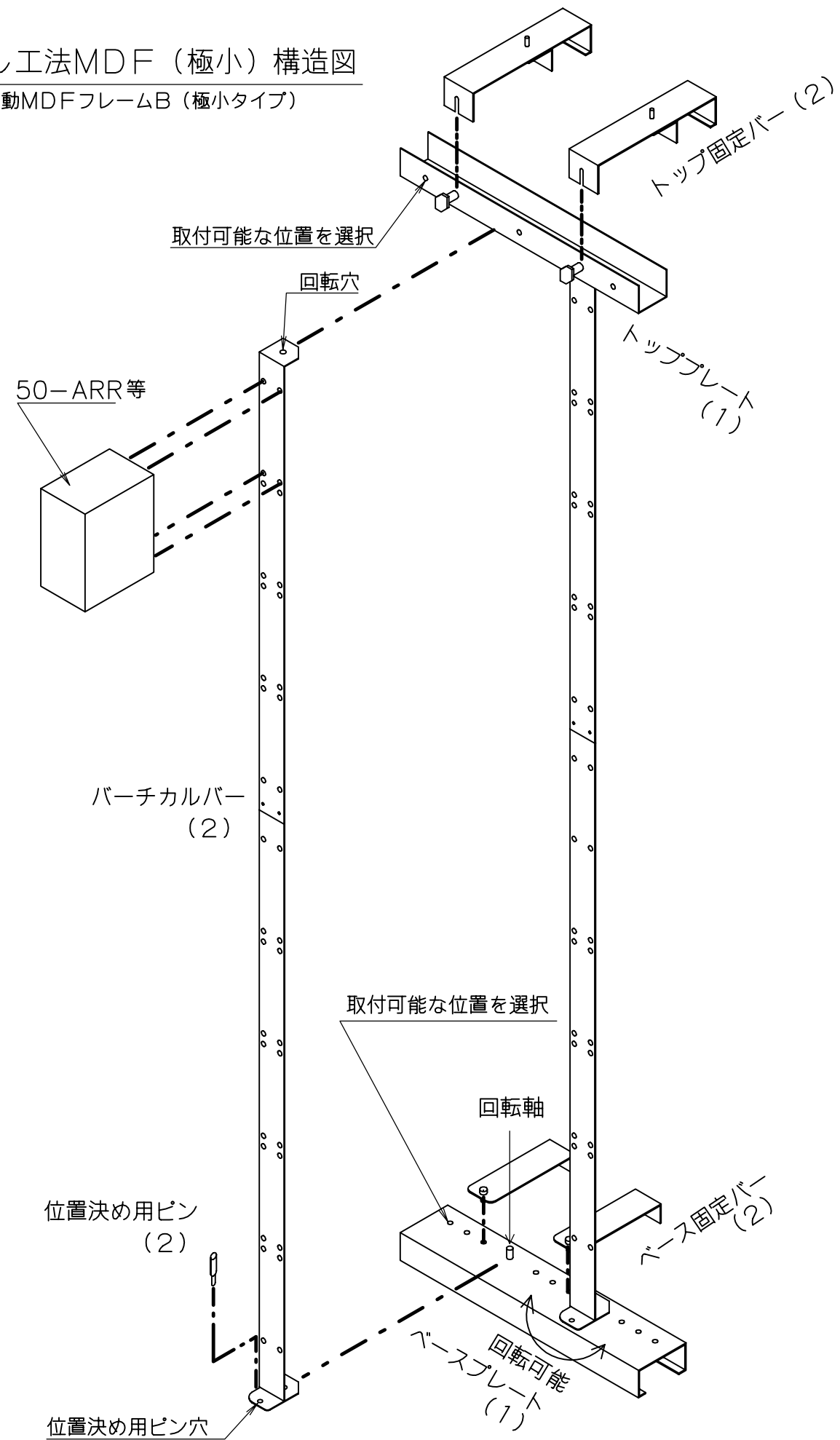
8. アースの接続方法

50-ARRの取付ナットを確実に締めて下さい。

尚、バーチカルバーに取付けることにより、50-ARR間の接続はされますが、各バーチカルバーごとにアース線を接続する等の適切なアース接続処理が必要です。

浮かし工法MDF（極小）構造図

自動MDFフレームB（極小タイプ）



完成図

「PAT．CONマルチケーブル」構造及び取扱説明書

構造及び機能

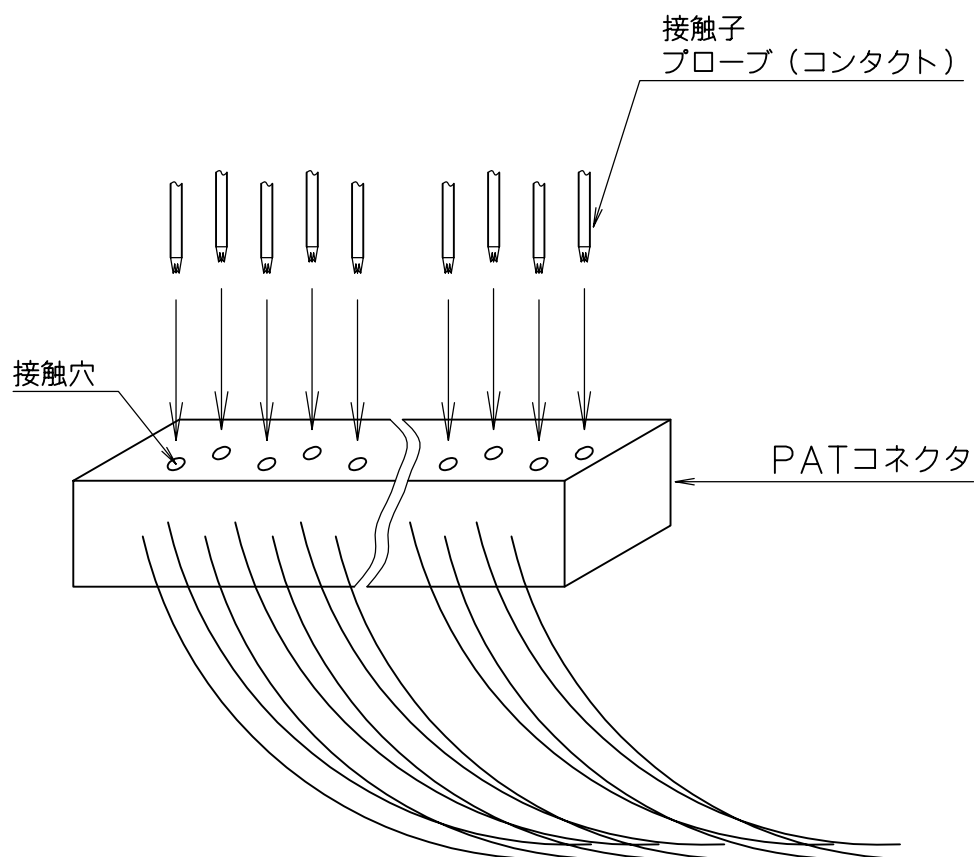
PAT．CONマルチケーブルはケーブルの両端のPATコネクタの接続穴にプローブ（コンタクト）を挿入して接触を取る接触子と接触子間のケーブルとで構成されています。

接触子はPATコネクタに対応しているので、1ケーブルで10対、5本セット（1組）で50対のマルチが取れます。

また、両端の接触子はベージュとブラウンに色分けし、線路側用（ベージュ）と端子板側用（ブラウン）に識別し、誤挿入のない様配慮しております。

更に、5本セットの各ケーブルについても各々色分けと番号表示を行っておりますので、作業時のケーブル輻輳による誤挿入を防止する様配慮しております。

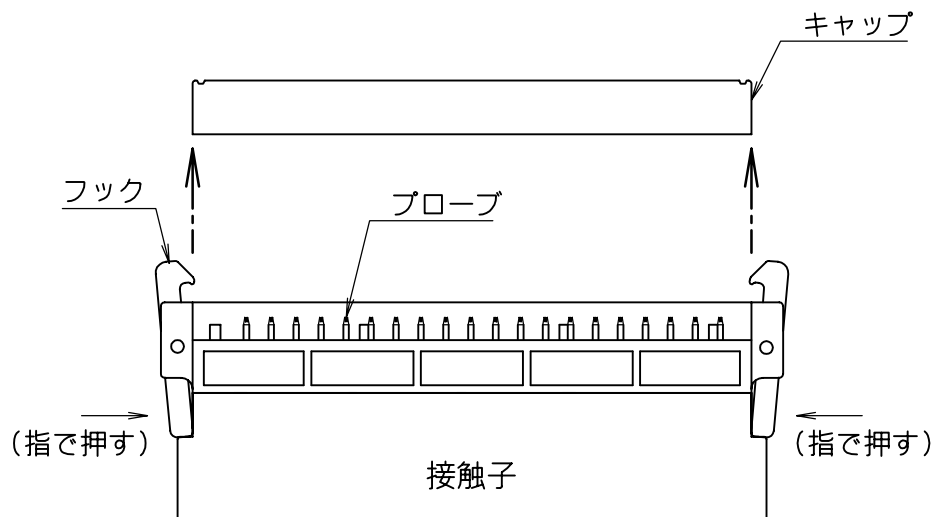
（PAT.CON マルチケーブル構造図参照願います。）



取扱方法

1. 各接触子にはプローブ保護の為、キャップを被せてありますので、使用時に外す。

尚、外したキャップは作業終了時等使用以外の時に、再度接触子に被せるので保管願います。



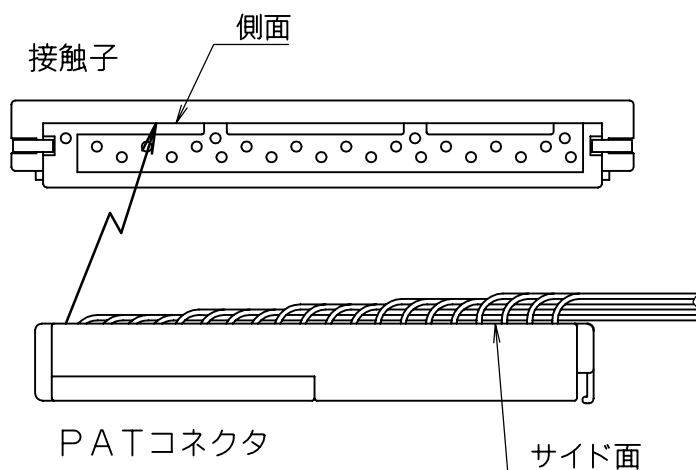
2. PATコネクタの挿入

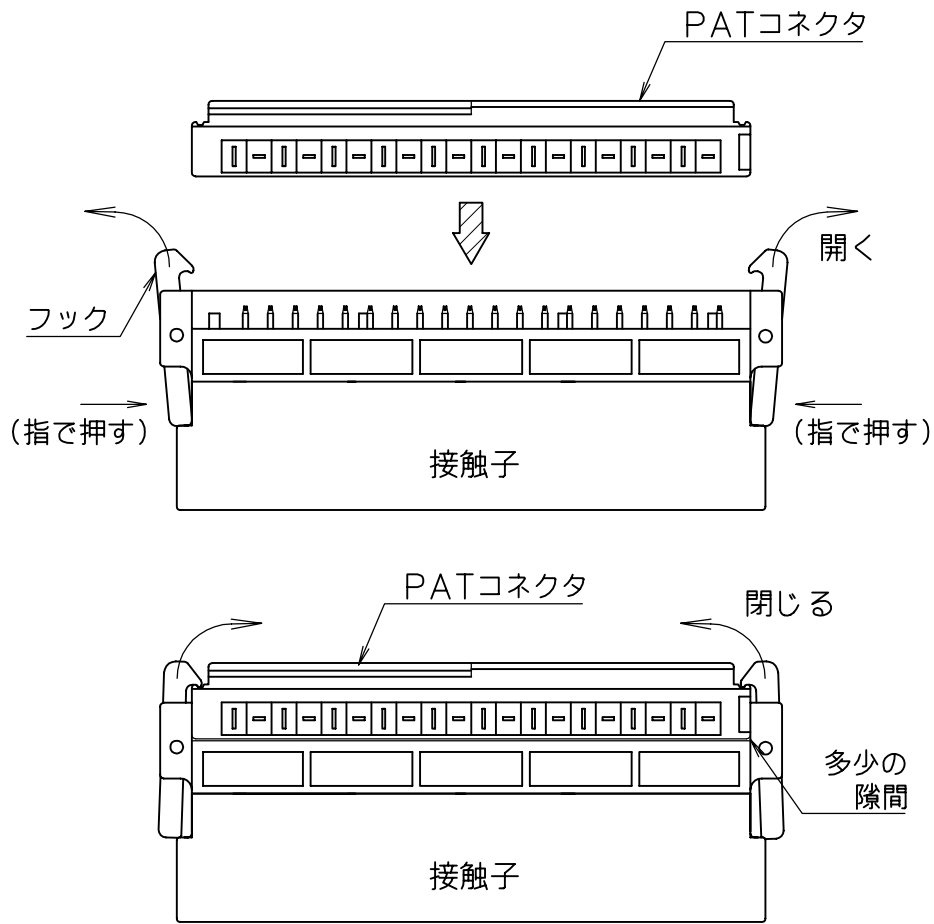
PATコネクタのサイド面（ケーブル付け線側）を接触子の側面に合わせ、指でフックを開いてからPATコネクタをまっすぐ押し込む。

この際、接触子のフックがバネにより閉じロックされ、PATコネクタが挿入される。

※PATコネクタは接触子の底に当たり、フックが閉じるまで確実に押し込んで下さい。

また、ヒネル、ヨジル、ナナメ、横にズラス等の無理な挿入は、プローブの破損やケーブル切断になるので行わないで下さい。

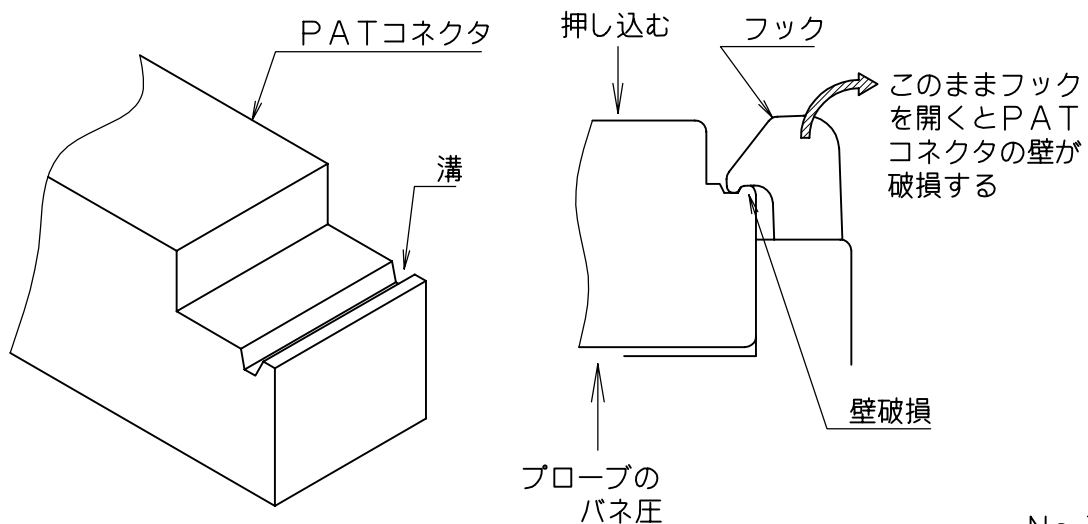




3. PATコネクタの取外し

PATコネクタは、接触子のプローブのバネ圧により常に押し上げられ、フックによりロックしているので、一旦PATコネクタを接触子に押し込んだ状態でフックの下部を指先で内側に押し込みフックを開いてからPATコネクタを取外す。

※PATコネクタを一旦接触子に押し込まない状態でフックを開くと、PATコネクタの溝部の壁が破損するので行わないで下さい。

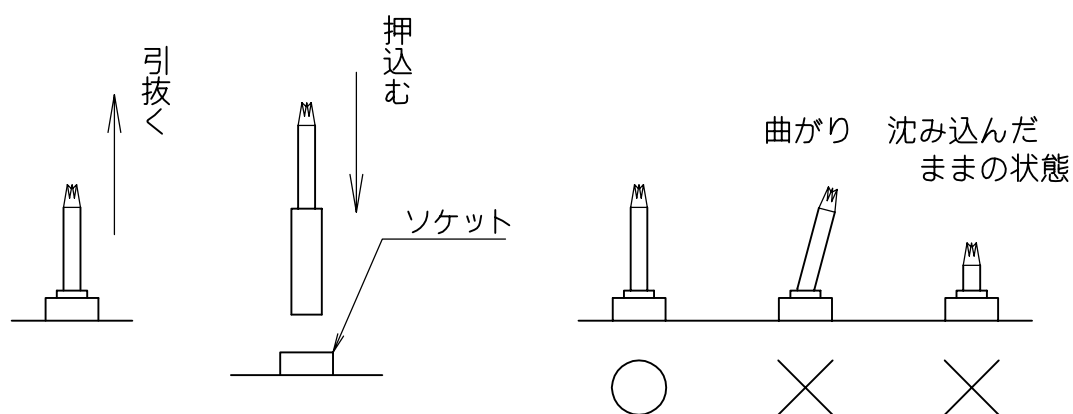


4. プローブ（コンタクト）の交換

接触子のプローブは取扱い方により先端の曲がりや破損を生じる場合がありますので、その時は交換を必要とします。

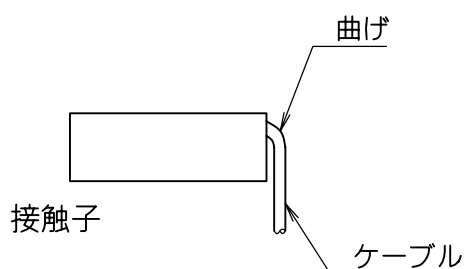
交換はピンセット、ラジペン等によりプローブをつまみ、軸方向に引き抜き、新しいプローブをソケットに真直ぐ挿入し底に当たるまで押し込む。交換したプローブは数回下に押し込んで、先端部が元に戻り動作が正常である事を確認して下さい。

※プローブは曲がり、ホコリ等により押し込まれた状態のまま元に戻らない（沈み込んだ状態）等の異常動作となってPATコネクタとの接触が出来なくなるので、取扱い、清掃、先端部の状態等に十分注意し、必ず確認を行って下さい。



5. ケーブルの扱い

ケーブルは接触子の根元で急激に曲げたり、強く引っ張ると切断する恐れがあるので、行わないで下さい。

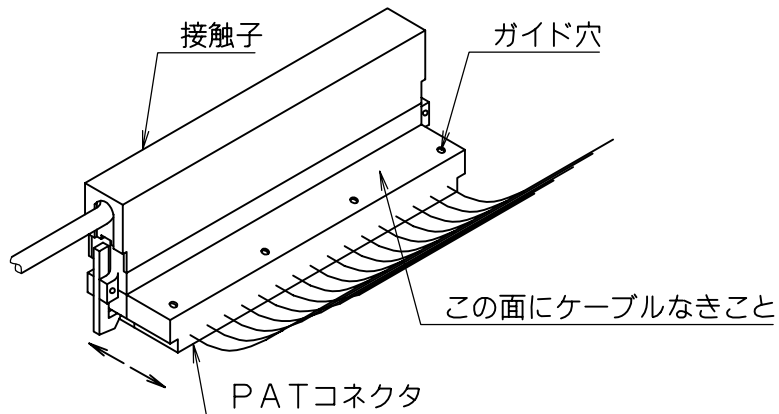


6. PATコネクタの分離と嵌合方法

<分離方法>

(1) ケーブルの整線

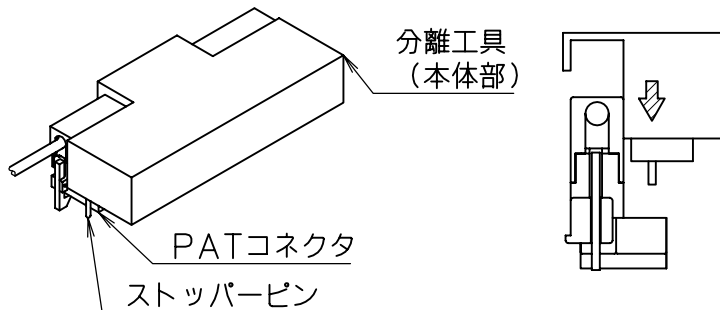
嵌合しているPATコネクタに接触子が片側だけ装着されている状態で、PATコネクタの分離を行う場合は、まずPATコネクタのガイド穴面上にケーブルが被さらないように整線して下さい。



(2) 工具の装着

接触子及びPATコネクタにPAT・CON分離工具の本体部分を被せ、前後方向に工具をストッパーに当たるまでスライドさせ、工具のピンをPATコネクタのガイド穴に挿入して下さい。

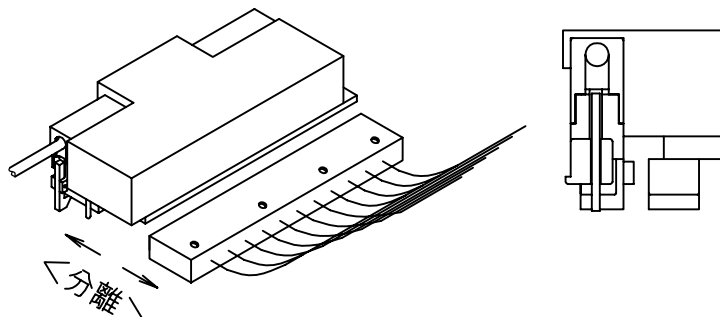
この際、ピンがガイド穴より抜けないように、手で上下方向を押さえて下さい。



(3) 分離

工具のレバーを一杯まで握りしめることにより、PATコネクタの分離ができます。

この際、工具のレバーによりケーブルや手を挟まない様に充分注意して下さい。

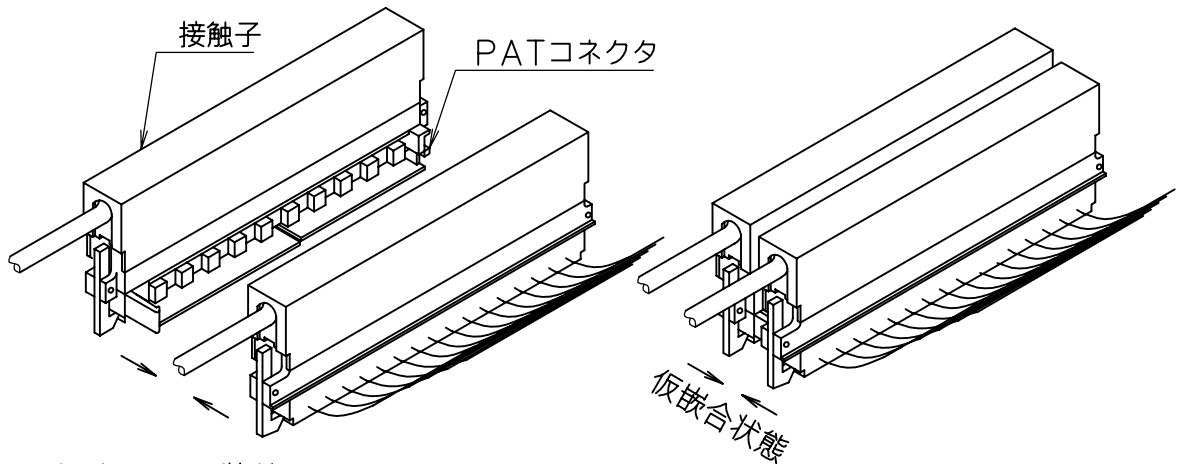


※ 工具のピンがPATコネクタのガイド穴に奥まで挿入されていない状態で分離を行うと、工具及びPATコネクタが破損しますので充分注意して下さい。

<嵌合方法>

(1) 仮嵌合

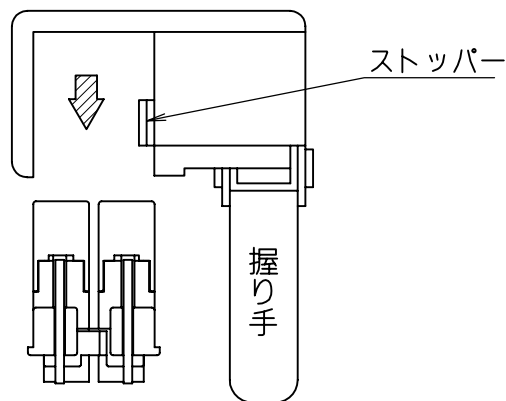
接触子が装着されているPATコネクタ同士を、従来のPATコネクタの嵌合と同様に、まず指により仮嵌合して下さい。



(2) 工具の装着

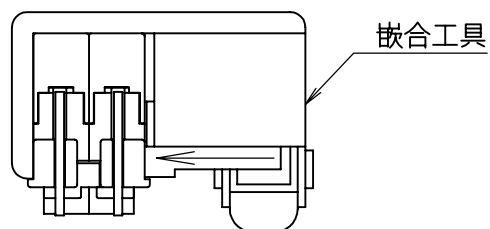
仮嵌合したPATコネクタに専用のPAT・CON嵌合工具を被せ、ストッパーに当たるまで前後方向にスライドさせて下さい。

この際、ケーブルの線カミがない事を必ず確認して下さい。



(3) 嵌合

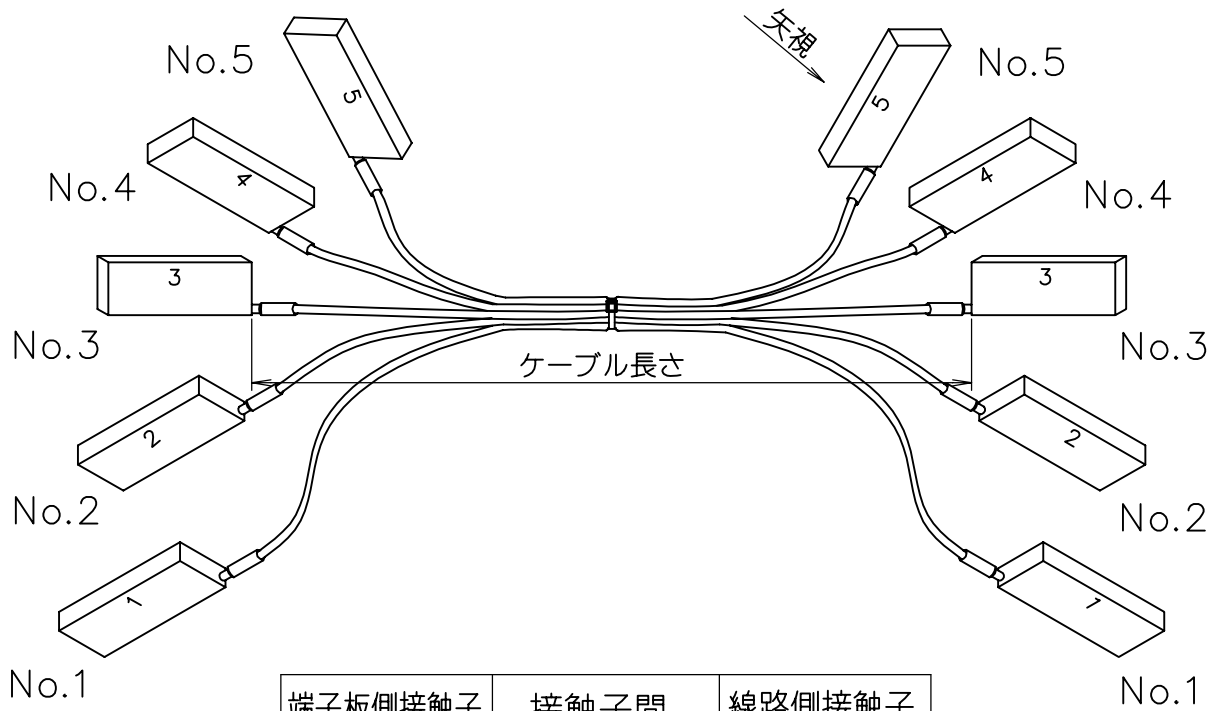
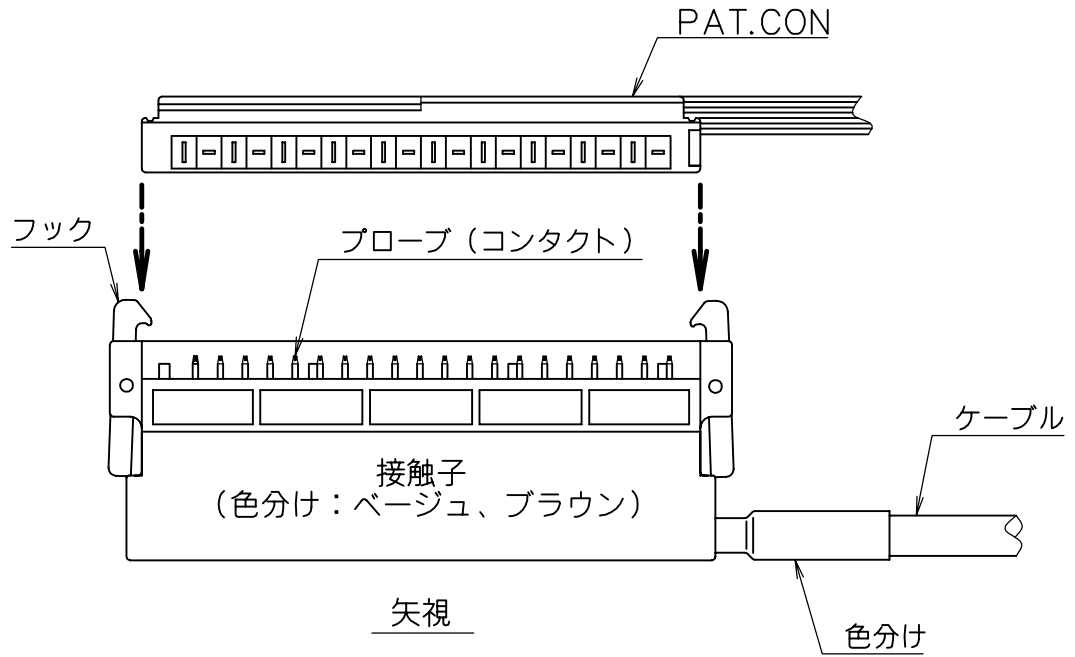
工具の握り手を一杯まで握りしめ、PATコネクタを嵌合させて下さい。



<嵌合>

※指による仮嵌合のみでは接続不良が発生しますので、必ず工具による嵌合を行って下さい。

PAT.CONマルチケーブル構造図



端子板側接触子 ブラウン (BR)		接触子間 ケーブル長さ	線路側接触子 ベージュ (BE)	
No	色	mm	No	色
1	青	960	1	青
2	黄	920	2	黄
3	緑	880	3	緑
4	赤	840	4	赤
5	黒	800	5	黒